

主題：三一の神が三部分から成る人に命となる

メッセージ 1

神の中心思想

聖書：創 1:26, 2:7-10, 18-25. 啓 22:1-2, 21:2, 9-10, 18-21

- I. 神の願いと定められた御旨とは、団体の人を得て、神の表現においてご自身を表現し、神の権威をもってご自身を代行することです。人は神を表現し神を代行するために、人の命としての神を持たなければなりません。その命は命の木によって表徴されています——創1:26, 2:8-9, ローマ8:28-29, IIコリント3:16-18, ローマ5:10, 17, 21, 16:20 :
- II. 聖書における神聖な啓示の開始であるエデンの園に関するビジョンと、聖書の神聖な啓示の終わりである新エルサレムに関する啓示は互いに反映します。聖書のこれら二つの箇所に啓示されたことは神の中心思想、神聖な啓示の中心路線、聖書を解釈し理解する支配的な原則です：
 - A. 創世記第1章と第2章は、神の有機的な建築のご計画の青写真であり、神の神聖な建造を得るためです——ヘブル 11:10, Iコリント 3:9。
 - B. 創世記第3章から啓示録第20章は建造の過程です。
 - C. 啓示録第21章と第22章は完成した建造の写真、三一の神の団体の表現です。
- III. 創世記第1章から第2章と、啓示録第21章から第22章の両方は、四つの有機的な項目を内容としており、神がご自身の定められた御旨を成就するために取る手順を見せています：
 - A. 神の永遠のエコノミーの中心としての命の木が予表するのは、三一の神の具体化であるキリストが、器としての三部分から成る人に命また命の供給となり、神の団体の表現とならせるということです。これが神の中心思想です——創 2:7-9, 啓 22:2, 参照、創 3:24, エゼキエル 1:28, Iコリント 1:30, エペソ 3:10, 啓 21:19-20 :
 1. 「彼の中に命があった。この命は人の光であった。光は暗やみの中に輝いている。そして暗やみはそれに打ち勝たなかった」——ヨハネ 1:4-5。
 2. 「わたしは道……命である」—— 14:6, 参照、15:5。
 3. 「わたしが来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである」—— 10:10 後半。
 4. 「まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ」—— 12:24。
 5. 「もしあなたが神の賜物を知り、また『わたしに飲ませてください』と言う者がだれであるかを知ったなら、あなたのほうが彼に求めていたであろう。そうすれば、彼はあなたに生ける水を与えていたであろう……わたしが与え

る水を飲む者はだれでも、決して永遠に渇くことはない。わたしが与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」—— 4:10, 14。

6. 「わたしが命のパンである……わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる…… 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命である」—— 6:35, 57, 63。
 7. 「最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです」—— I コリント 15:45 後半。
 8. 「命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、わたしを解放したからです」——ローマ 8:2。
 9. 「キリストがあなたがたの中におられるなら、体は罪のゆえに死んでいても、霊は義のゆえに命です」—— 10 節。
 10. 「肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です」—— 6 節。参照、I コリント 6:17。
 11. 「イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます」——ローマ 8:11。
 12. 「自分の衣服を洗う者たちは幸いである。彼らは命の木への権利を持ち、門を通過して都の中へと入ることができる」——啓 22:14. 参照、詩 51:2, 7, 10, 12。
 13. 「勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう」——啓 2:7. 参照、ヨハネ 6:57, 63. エレミヤ 15:16. ヨハネ 15:1, 5, 7. 8:31。
 14. 「神はまたわたしたちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです」——II コリント 3:6, 参照、8-9 節。 5:20。
 15. 「だれでも自分の兄弟が、死に至らない罪を犯しているのを見たなら、その人は祈り求めるべきです。そうすれば、彼はその人に、死に至らない罪を犯している人たちに、命を与えます」——I ヨハネ 5:16。
- B. 川が流れて地の四つ方向に到達することが表徴しているのは、命の豊満としての命の水の川がその流れにおいて源また中心としての唯一の神から流れ出て、あらゆる方向における人に到達するということです——創 2:10 :
1. 命の水の川が神と小羊の御座から流れ出ていることが描写しているのは、どのように三一の神、神、小羊、命の水によって象徴されるその霊が、彼の頭首権の下でご自身を彼の贖われた人の中へと分与するかということです——啓 22:1。
 2. 命の水の川が 純金 (21:21) である「大通りの中央を」(1 節) 流れていることが表徴するのは、神聖な命が唯一の道としての神聖な性質の中に流れて、神の贖われた民の日ごとの供給となるということです——II ペテロ 1:4. ヨハネ 4:24. I ヨハネ 4:8, 16. 1:5。

3. 永遠の命の交わりは (3 節) すべての信者の内側の永遠の命の流れであり、新エルサレムにおける命の水の流れによって描写されています (啓 22:1)。
 4. 次の節は、どのようにわたしたちが流れる三一の神を享受しなければならないかを示しています——エレミヤ 2:13. 詩 36:8-9. ヨハネ 7:37-39. 出 17:6. 民 20:7-8. I コリント 12:3 後半, 13. エゼキエル 47:1-9。
- C. 川の流れは三つの尊い材料という結果になります。すなわち、金、ブドラク、縞めのうという結果になります——創 2:10-12 :
1. これらの材料は、神の永遠の建造の構造の基本的な要素としての三一の神を予表しています。新エルサレムはこれら三つの部類の材料から成っています——啓 21:18-21 :
 - a. 金は、父なる神と彼の神聖な性質を予表しています。人は神の召しを通して神聖な性質にあずかります。そして、それは神の永遠の建造のベースです——II ペテロ 1:3-4。
 - b. ブドラクは、木の樹液から生み出される真珠のような材料であり、神の御子の贖うまた命を与える死と彼の命を分与する復活の中で彼が生み出したものを予表しています。それは、神の永遠の建造への入り口です——ヨハネ 19:34. 12:24. I ペテロ 1:3. 啓 21:21。
 - c. 縞めのうは、宝石であり、霊なる神と彼の造り変える働きを予表しています。それは、神の永遠の建造を建て上げるためです——II コリント 3:18。
 2. 人の中の神聖な命の流れは、神聖な性質を人の中へともたらし (II ペテロ 1:4)、人を再生し (I ペテロ 1:3)、人をキリストの栄光のかたちへと造り変えます (II コリント 3:18)。こうして、ちりから造られた人は (創 2:7)、神の建造のための造り変えられた尊い材料となり、新エルサレムにおいて究極的に完成します。
 3. わたしたちは命において造り変えられることによって、神の建造のために、金、銀、宝石となりつつあります——I コリント 3:12 :
 - a. これらの材料をもって建造するために、わたしたち自身がそれらで構成されていなければなりません。わたしたちは父なる神の性質における成長と、子なる神の贖いと、霊なる神の造り変えを必要とします。この成長がわたしたちを、神の建造のために、金、銀、宝石とします——12, 16-17 節。
 - b. わたしたちがキリストを食べ、それから霊的に消化し、吸収し、新陳代謝することを通して、キリストはわたしたちとなり、わたしたちは彼となります。その時、わたしたちは神の建造のために、尊い材料となります——ヨハネ 6:57. エペソ 3:17. ガラテヤ 4:19。
 4. 神の永遠の目標は建造です。すなわち、尊い材料をもって唯一の土台としてのキリストの上に建てられた宮です——I コリント 3:11-12, 16-17 :
 - a. 神聖な命における成長は、神の住まいの建造のための材料を生み出します。この住まい、召会は、無限のキリストの増し加わり、拡大です——エペソ 2:21-22. ヨハネ 3:29-34。

- b. まず、わたしたちは命における成長のための農場を持ちます。次に、わたしたちは神の永遠の定められた御旨のための建物を持ちます——I コリント 3:9. マタイ 16:18. エペソ 2:20-22. 4:16。
5. 神の家としての召会の実際の建造は、信者たちの命における成長によります——I コリント 3:6-7, 16-17. エペソ 2:20-21. I ペテロ 2:2-5 :
- a. 真の建造は命における成長です。わたしたちが建造されている程度は、わたしたちが成長している程度です。
- b. 本物の建造を持つために、わたしたちは自分自身を減少させることによって、またキリストを自分の内側で増し加えることによって、成長する必要があります——マタイ 16:24. エペソ 3:17。
- D. 神の定められた御旨を成就することにおける神の手続きの最終段階は、彼ご自身を人の中へと造り込んで、人を彼の配偶者、あるいは補完とすることです——創 2:18-25. 啓 21:2, 9-10 :
1. 彼ご自身のための補完を生み出すために、神はまず人と成りました。これは、神がアダムを創造することによって予表されています——ヨハネ 1:14. ローマ 5:14。
2. アダムが彼の妻としてのエバを生み出すために深い眠りに陥ったことは、キリストが彼の配偶者としての召会を生み出すために十字架上で死なれたことを予表しています——エペソ 5:25-27。
3. アダムの開かれた脇から取られたあばら骨が予表するのは、キリストの碎かれ得ない、不朽の、永遠の命であり、それが彼の突き刺された脇から流れ出て、彼の信者たちに命を分け与えて、彼の補完としての召会を建造するということです——ヘブル 7:16. ヨハネ 19:34。
4. 創世記第 2 章 22 節は、エバが創造されたとは言っておらず、エバが建造されたと言っています。アダムの脇から取られたあばら骨をもってエバが建造されたことは、キリストの十字架上での死を通してキリストから解き放たれ、キリストの復活の中で彼の信者たちに分け与えられた復活の命をもって召会が建造されることを予表しています——ヨハネ 12:24. I ペテロ 1:3。
5. そのような過程を通して、神はキリストにあって人の中へと彼の命と性質をもって造り込まれてきました。それは、人が命と性質において神と同じになって、彼の補完、彼の花嫁、彼の妻として、彼にふさわしくなることができるためです——啓 21:2, 9-10。
6. 召会は実際のエバとして、彼のすべての信者の中にいるキリストの総合計です。キリストの復活の命をもってキリストから出て来たものだけが、彼の補完また配偶者、すなわちキリストのからだになることができます——I コリント 12:12. エペソ 5:28-30。
7. 聖書の終わりにあるのは、都、新エルサレム、究極の永遠の女、団体の花嫁、小羊の妻であり、それは三つの尊い材料をもって建造されており、創世記第 2 章で示された予表を永遠にわたって成就します。こういうわけで、予表にお

いて、11 節と 12 節で述べられたすべての材料は女の建造のためです。

© 2013 *Living Stream Ministry*